

3-5 インフラ施設の現状

(1) 道路

本市の道路は、環白山地域を結ぶ中部縦貫自動車道（国道 158 号）を骨格とし、国道 157 号と国道 416 号により周辺都市と結ばれています。本市では、都市計画道路網は概成しており、県道勝山インター線も平成 29 年 3 月に開通予定となっています。残る（都）旭立川線などの整備が望まれています。

本市の市道は総延長 441km であり、総面積は 242 万 m^2 となっています。

■市道等の整備状況

種別	実延長(m)	面積(㎡)
1級幹線市道	56,836	497,683
2級幹線市道	37,295	234,131
その他の市道	347,701	1,692,746
市道計	441,833	2,424,560
農道	106,589	407,732
林道(舗装部)	75,087	308,428

1 級幹線市道

国道、県道を連絡する道路など

2 級幹線市道

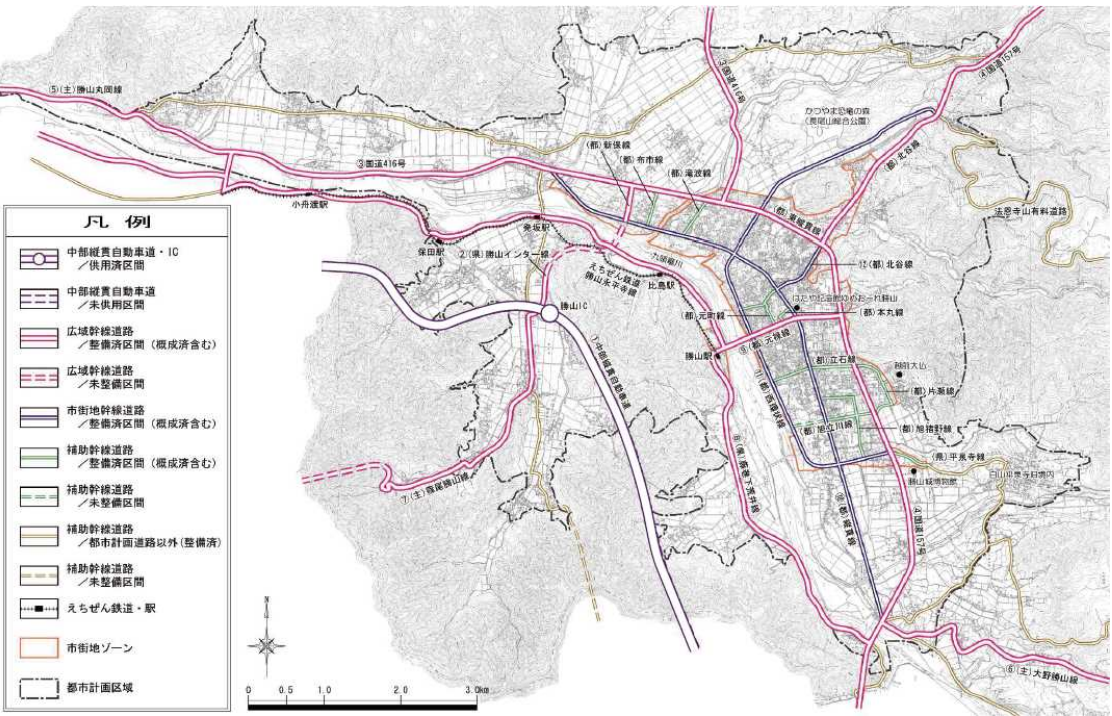
1 級幹線市道を補完し、基幹道路網を形成する道路

■道路の状況（平成26年4月）

	中部縦貫道	国道	主要地方道	一般県道	市道	合計
実延長	7km	40km	25km	56km	441km	569km
構成比	1.3%	7.0%	4.4%	9.9%	77.5%	100.0%

（出典：勝山市統計書）

■市街地およびその周辺の交通体系整備方針図



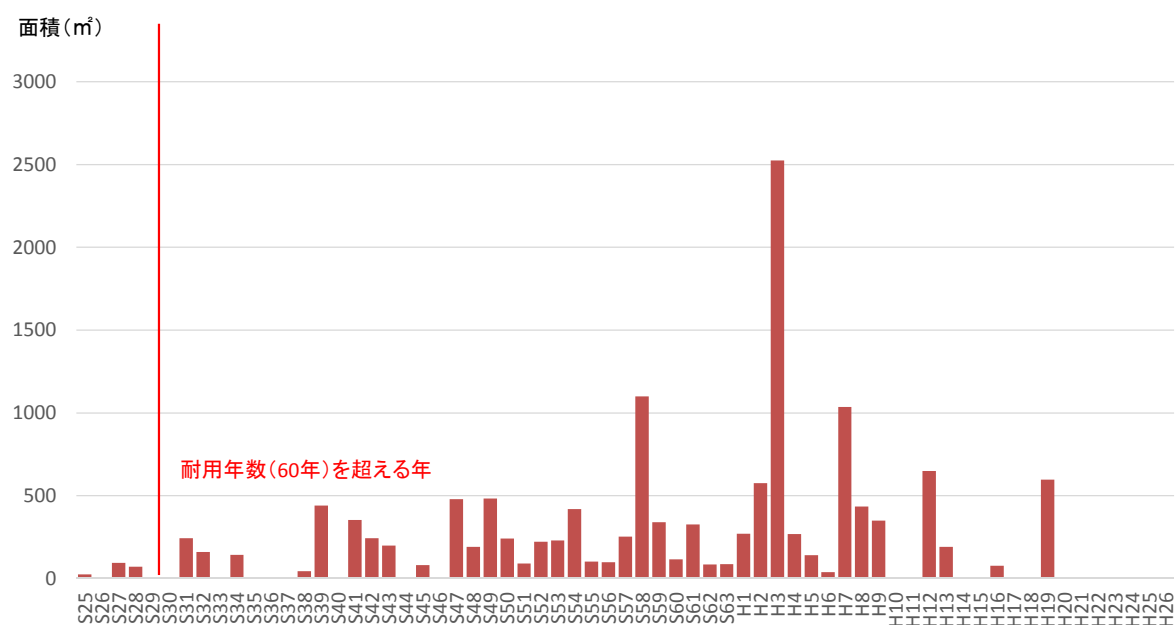
（都市計画マスタープランを一部修正）

(2) 橋梁

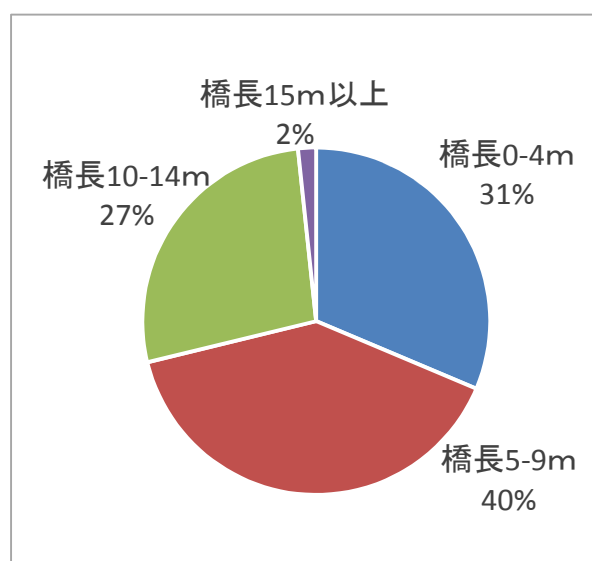
本市の橋梁は、355 橋あり、延長は約 3.7km、総面積は 2.2 万㎡となっています。平成 24 年度に「勝山市橋梁長寿命化修繕計画」（以下「橋梁長寿命化修繕計画」という。）を策定しており、計画的かつ予防保全的な維持管理・修繕による、橋梁の維持管理コストの縮減と財政負担の平準化を目指した取り組みを進めています。

なお、建設年度不明が 0.8 万㎡のほとんどが橋長 15m 未満であり、橋長 5m 未満が 3 割となっています（面積ベース）。

■建設年度別面積



■建設年度不明の橋長の内訳



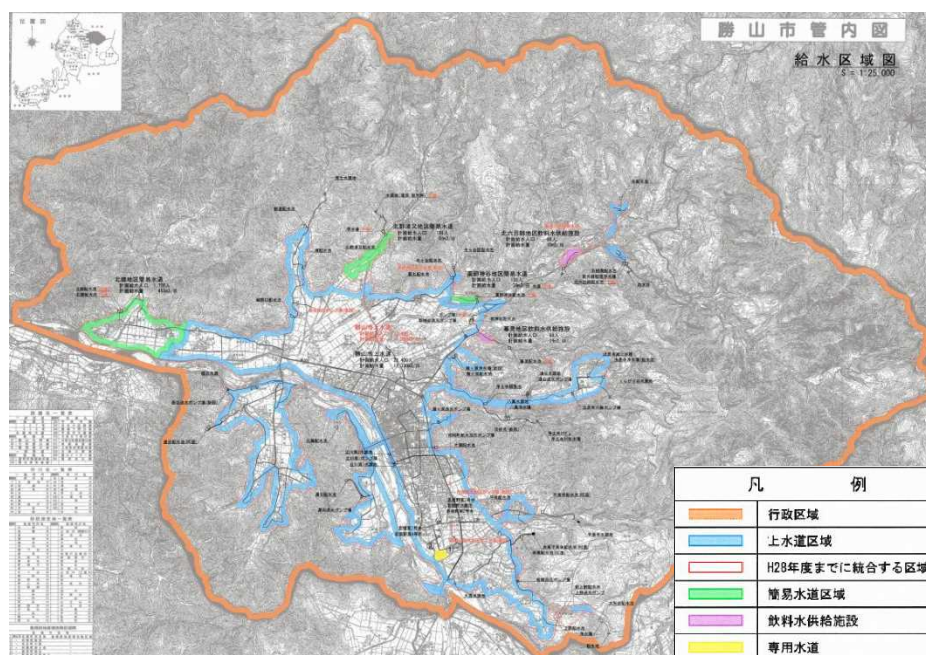
(資料：建設部)

(3) 上水道

本市は、上水道 1 事業、簡易水道 3 事業、飲料水供給施設 2 事業を有しており、地域住民に生活用水を供給しています。上水道及び簡易水道の延長は、導水管 12.6km、送水管 27.6km、配水管 278km となっています。平成 26 年度末の給水普及率は 97% となっています。

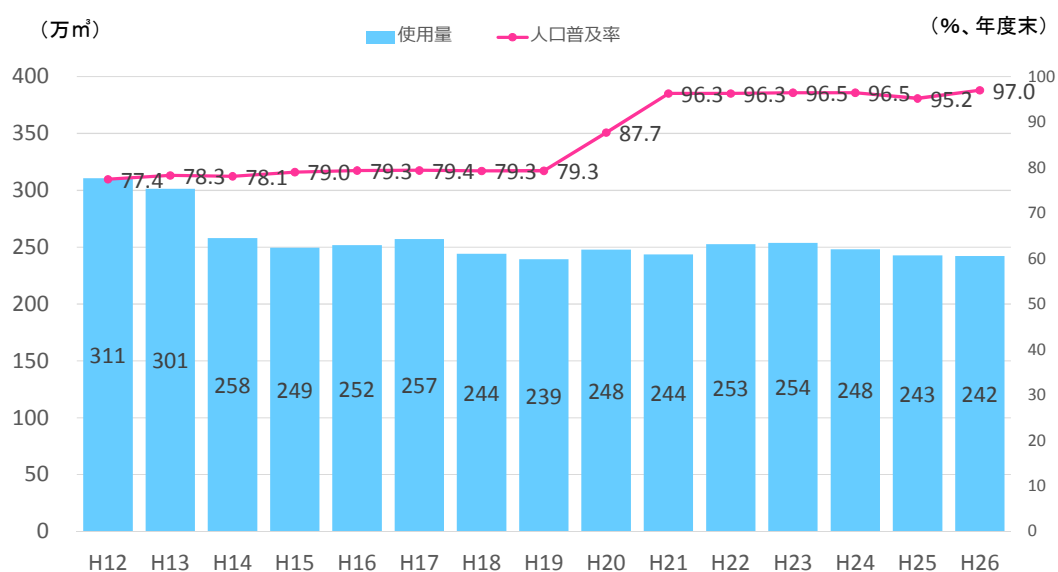
なお、平成 27 年度末に北野津又簡易水道を上水道に統合し、H28 年度末には北郷地区簡易水道、薬師神谷簡易水道、北六呂師飲料水供給施設、暮見飲料水供給施設が上水道に統合予定となっています。

■勝山市の給水区域と施設



(資料：勝山市水道ビジョン)

■上水道の人口普及率と上水道使用量



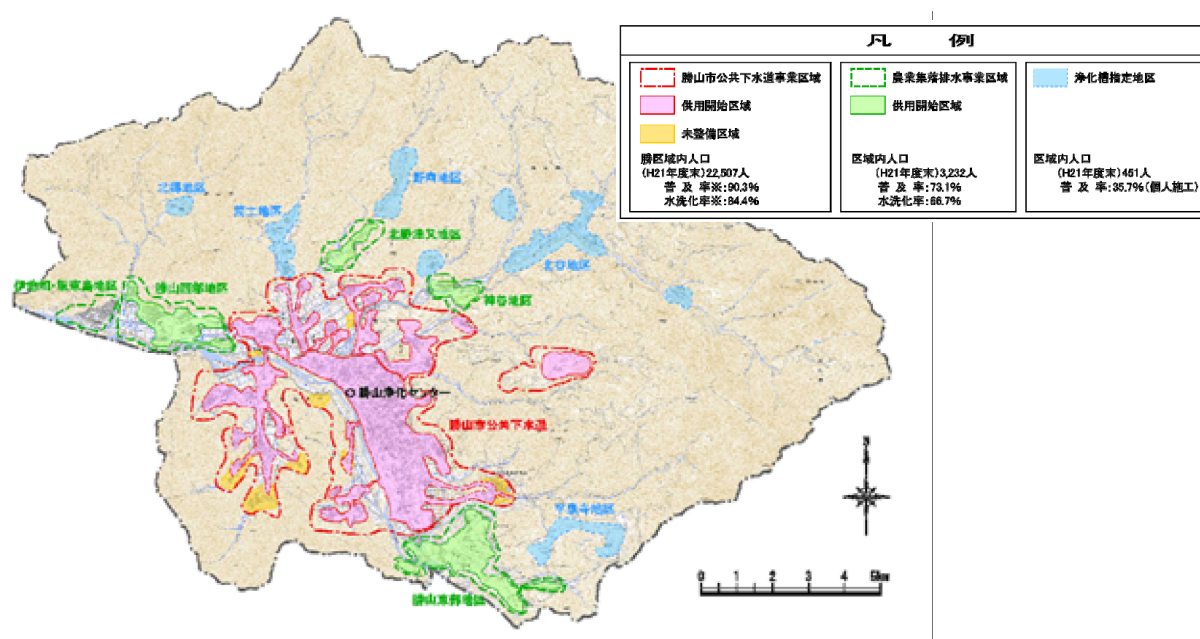
(出典：勝山市統計書)

(4) 下水道

本市の公共下水道事業は、市街地部の整備はほぼ完了し、周辺集落の下水道整備を進めているところです。平成 26 年度末の人口普及率は 88% となっています。下水道管きょは延長 223 km であり、管径別にみると 9 割以上が 250mm 以下となっています。また、勝山浄化センターでは、平成 24 年 2 月に「勝山市勝山浄化センター長寿命化計画」（以下「勝山浄化センター長寿命化計画」という。）を策定しています。

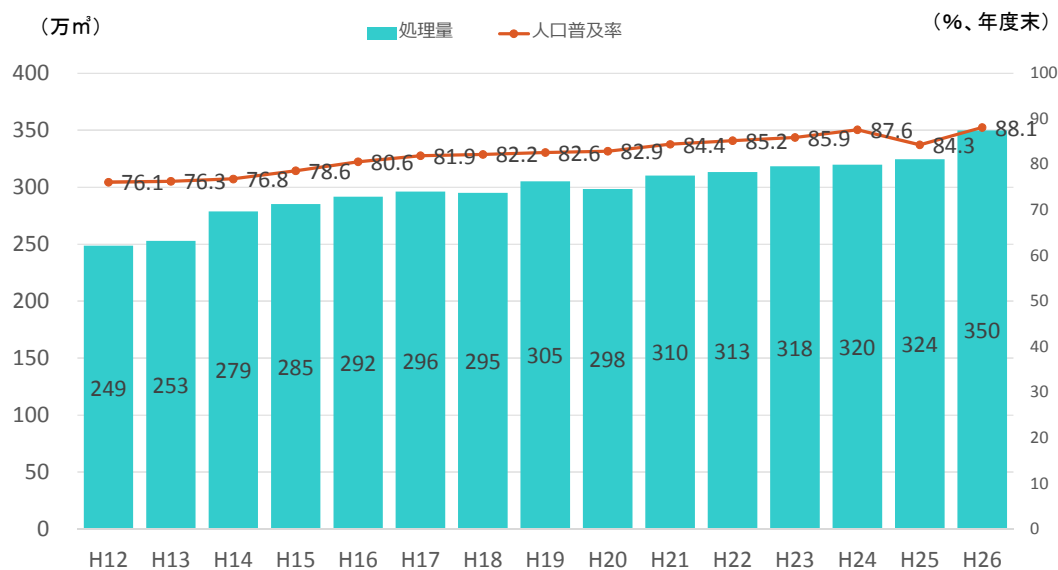
農業集落排水は、平成 5 年から平成 24 年までに 24 集落を 5 地区に分けて整備を行っており、延長は 46.6km となっています。

■下水道整備状況図（平成27年3月現在）



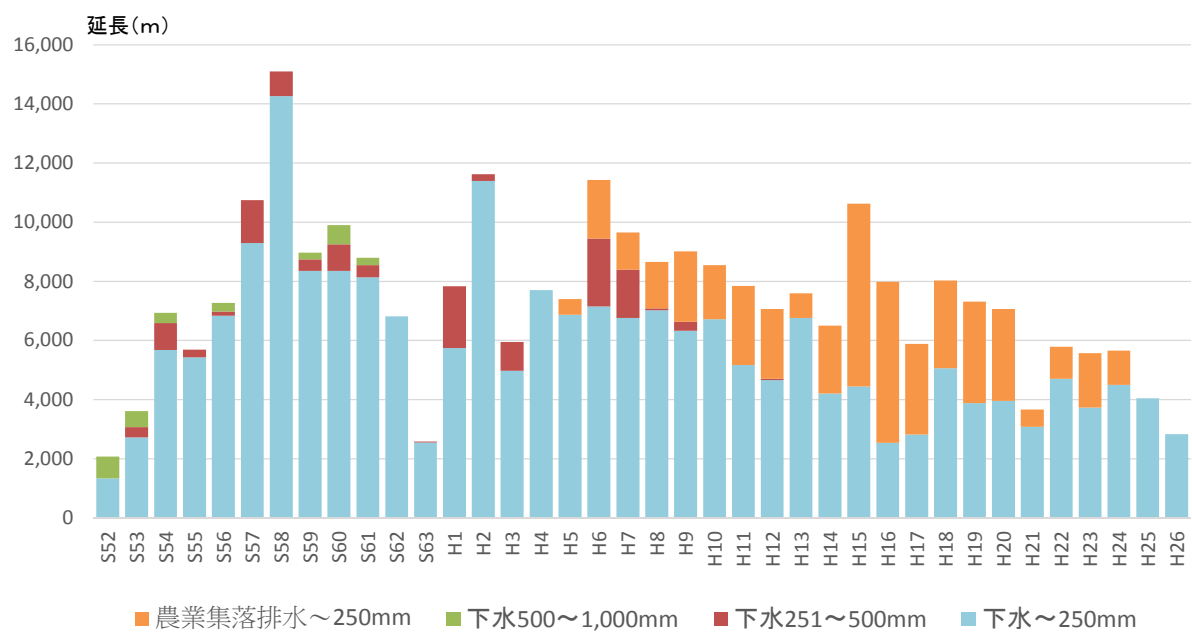
（出典：都市計画マスタープラン）

■下水道の人口普及率と浄化センター処理量



（出典：勝山市統計書）

■管径別下水道および農業集落排水の延長の推移

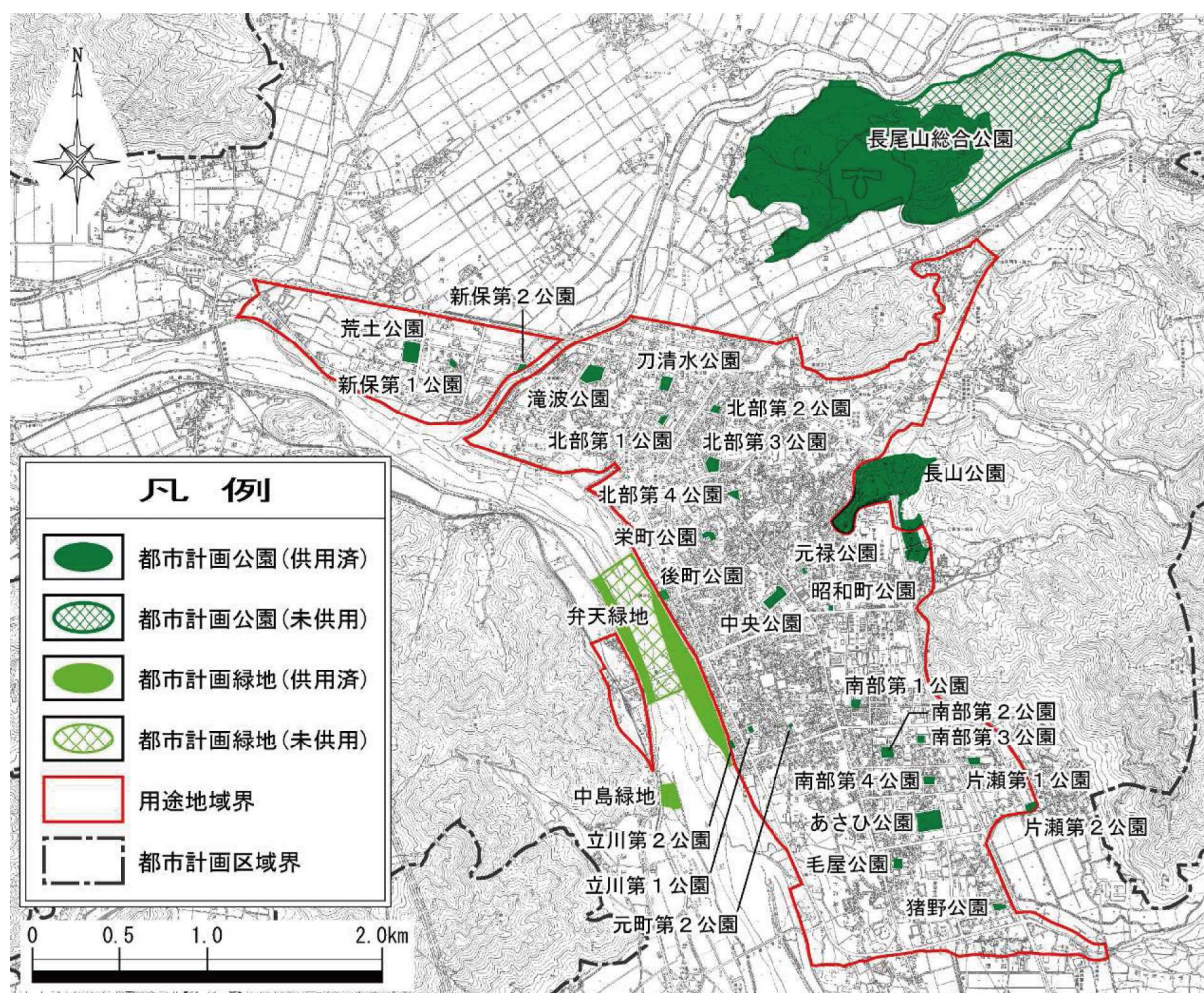


(資料：上下水道課)

(5) 公園

本市の公園は、都市計画公園 33 公園あり、約 107ha を供用しています。園内の遊具や休養施設等については老朽化が進行しているものも多いことから、健全度を把握するための点検調査を行った上で平成 25 年 10 月には「勝山市公園施設長寿命化計画」（以下「公園施設長寿命化計画」という。）を策定し、施設の長寿命化のための対策を計画的に進めています。

■公園・緑地の配置状況（平成 28 年 3 月現在）



（勝山市都市計画マスタープランを一部修正）

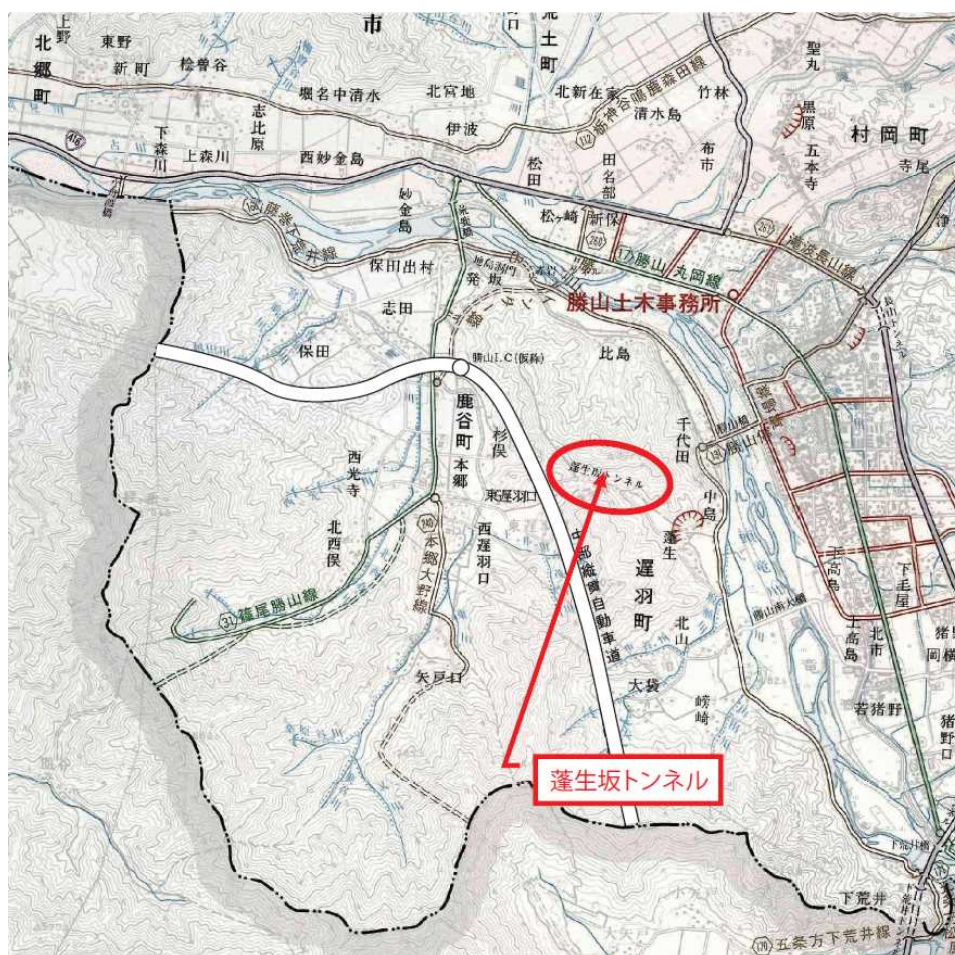
区分	都市計画公園				その他	合計
	街区公園	近隣公園	総合公園	緑地		
公園数	23	4	2	2	2	33
面積（ha）	4.87	4.34	88.3	9.27	0.04	106.82

（出典：勝山市統計書）

(6) その他

その他、本市では遅羽町蓬生に、幅員 7.5m、延長 465m（道路幅面積 3,487.5 m²）のトンネル、また約 11km の勝山大用水の他、約 549km の農業用水路、さらに雨水排水路として、約 11km の雨水幹線管きょと約 84km の流雪溝等を管理しています。

■トンネル位置図



(建設課資料を一部修正)

■農業用水路の延長

施設	区分	延長（m）		
勝山大用水	勝山新大用水	7,565	10,765	559,358
	勝山旧大用水	3,200		
その他水路	用水	267,996	548,593	
	排水	213,143		
	用排兼用	67,454		

(資料：農業政策課)

■雨水排水路設備

区分	数量
雨水幹線管きょ	10,954m
雨水調整池 (貯留能力)	3箇所 (2,900 m ³)
流雪溝	84,171m
消雪パイプ	15,931m

(資料：上下水道課、建設課)

3-6 中長期的な施設更新等の費用の見込み

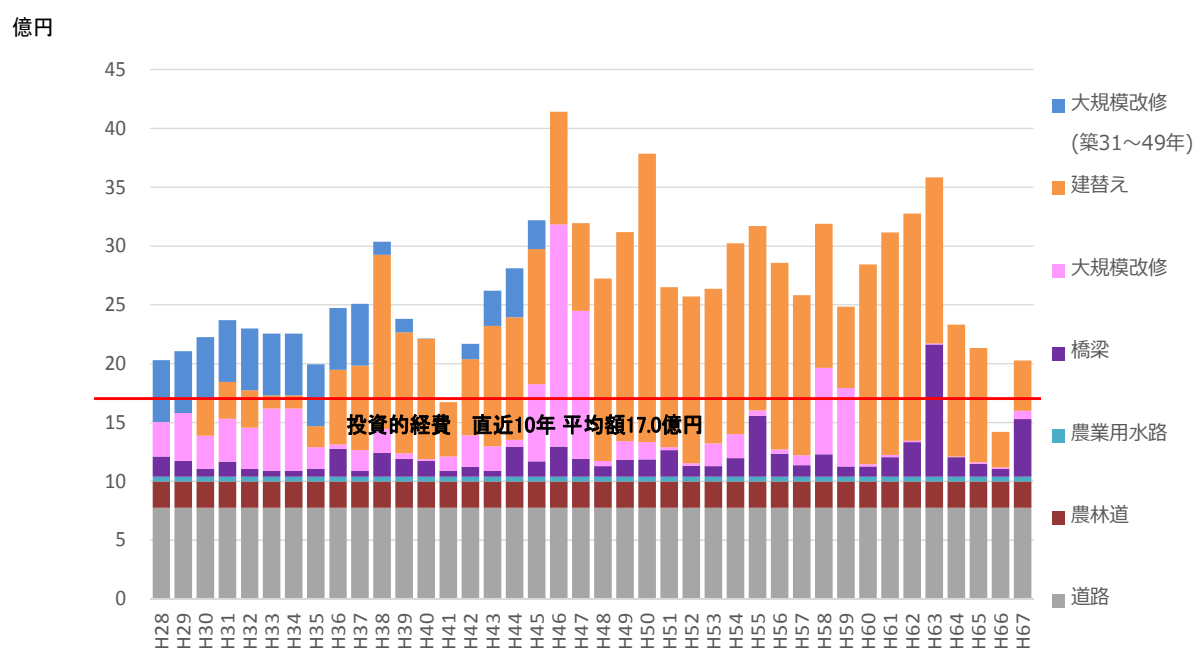
(1) 公共施設とインフラ施設（上下水道等を除く）の更新等費用

試算条件をもとに、本市が現在保有する公共施設とインフラ施設（普通会計の対象ではない上下水道施設等を除く）を将来においても同規模で維持し続ける前提で、中長期的に必要な更新等の費用について試算した結果、今後 40 年間の費用総額として約 1,055 億円、年間あたり約 26.4 億円の費用が見込まれます（後述する廃止予定施設の費用は除外しています）。平成 17 年度から平成 26 年度までの投資的経費の年平均額約 17.0 億円に対し、更新等費用が大きく上回る結果となりました。

更新量がピークを迎えるのは平成 46 年となっています（平成 46 年は勝山ニューホテルをはじめ大規模更新が重なり高額となっています）。

■現状の公共施設の改修・更新にかかる経費

（「総務省公共施設等更新費用試算ソフト」による試算結果）



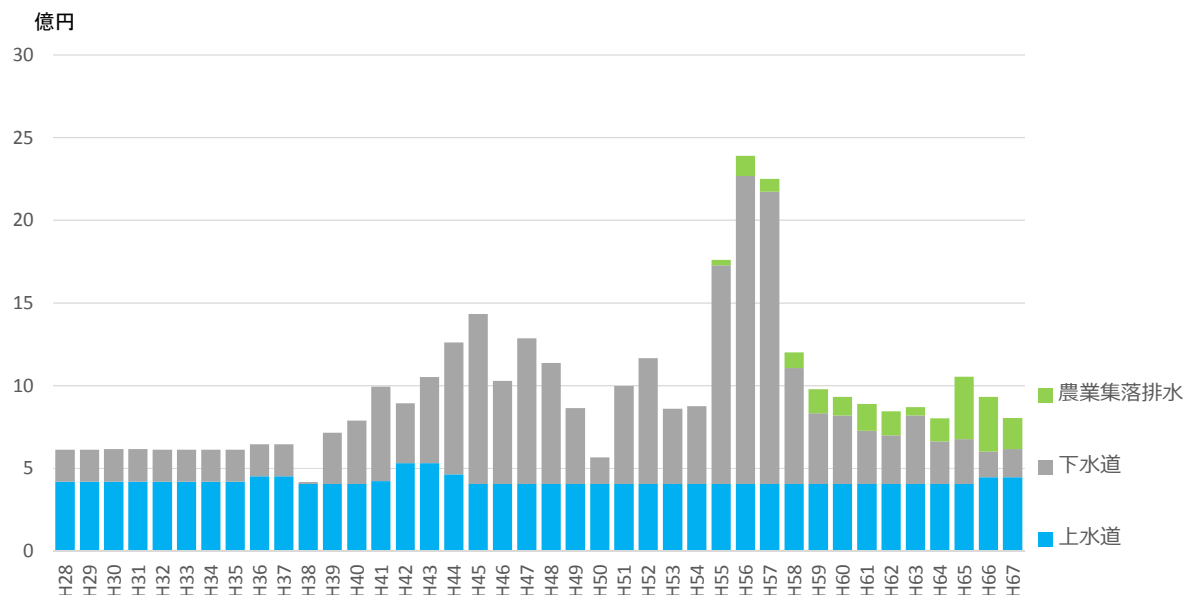
【試算条件】

項目	内容
試算対象	公共施設とインフラ施設（普通会計の対象でない上下水道施設や小規模な施設は除く）
更新等の周期	建替えは建築後 60 年で、大規模改修は 30 年で行う想定。既に更新・大規模改修時期を過ぎた分については、当初 10 年間に均等割り付け。 過去 10 年間に大規模改修相当を実施した施設については、当該実施の 20 年後に大規模改修時期を先延ばしし、建替えが 30 年以内にある場合は大規模改修を実施しない。
更新等の費用	耐用年数経過後に現在と同じ延床面積等で更新すると仮定し、延床面積等の数量に施設種別に応じた更新単価を乗じることにより、更新費用を試算。試算においては、一般公開されているソフトを活用。

（２）上下水道等の更新等費用

試算条件をもとに、本市が現在保有する上下水道および農業集落排水を同規模で維持し続ける前提で、中長期的に必要な更新等の費用について試算した結果、今後 40 年間の費用総額として約 383 億円、年間あたり約 9.6 億円の費用が見込まれます。

■現状の上下水道等の改修・更新にかかる経費



（「総務省公共施設等更新費用試算ソフト」による試算結果）

【試算条件】

項目	内容
試算対象	上下水道施設と農業集落排水施設
更新等の 周期	上水道管きょ：40年更新、下水道管きょ：50年更新を想定
更新等の 費用	耐用年数経過後に現在と同じ延床面積等で更新すると仮定し、延床面積等の数量に施設種別に応じた更新単価を乗じることにより、更新費用を試算。試算においては、一般公開されているソフトを活用。